



令和4年12月2日 発行

## 絆、深まる2学期 ～One for all All for one～

南中学校の地域に生まれ、奇跡的に出会った仲間 353 名とスタートした中学校生活も、8 ヶ月が経過しました。最初はお互いの良さを認め合うことができず、学級や学年でのトラブルや部活動での悩みが絶えませんでした。学校生活に慣れてくるとともに、身体だけではなく、精神的にも大きく成長してきていることを感じる事が多くあります。家に帰れば、温かい家庭があり、基本的には自分中心の生活を送ることができていた小学校の頃とは違い、集団生活では小学校以上に厳しくなる中学校のルールに対しては、自らの主張も通用しない場面を多く経験したと思います。自宅で許される甘えは、実は親や家族の支えで成り立っているのです。この1年間の学校生活で、仲間を認め合い、そして、理解し合うことの重要性を学んだ子どもたちは、ここからが更なる進化を目指す時だと私は考えています。

一人一人が輝いて、学級の結束力が高まれば、次なる目標は、学年目標のサブタイトルでもある、One for all All for one を目指すことです。これは、「1人はみんなのために。みんなは一つの目的のために。」という意味を示しています。

今後は、終業式まで続く授業を大切に、球技大会などの学校行事を含めた12月と、3学期を合わせた残り4ヶ月を、足踏みではなく、さらにダッシュで駆け抜けるように精進してほしいと願っています。南中学校1年団としても最大限のサポートをしていきます。保護者の皆様、今後も、変わらず子どもたちを見守ってください。よろしくお願いいたします。

## 職業人に学ぶ会、子どもたち大きく成長！

11月号でもご紹介しましたが、「職業人に学ぶ会」が実施されました。

岡山県倉敷市を中心とした多くの個人事業主様、また企業様をお招きして、「働くことへのやりがい」や「苦悩」、また、「働く上でのポリシー」等々、様々な角度から、「仕事」についてお話を聞かせていただくことができました。生徒たちは皆、講話や実演に集中して取り組み、知識と教養を深めることができました。その後は、各クラス(各班)でスライドにまとめた内容をわかりやすく発表し、お互いにプレゼンテーションを披露しました。12月上旬には、クラスの代表となった班が、学年発表を行います。

総合学習での一つ一つの取り組みが、今後の進路学習の基盤となります。これからの成長にも期待しています。



## 子どものスマホは何処へ？

今までも学年通信で、SNSトラブルについて記載してきました。1年生も、この1年間でスマートフォンを媒体としての生徒間トラブルが多くありました。問題が起きたとしても、「明日からの学校生活に不安要素を残さないようにしたい。」と願い、顔を合わせて話をさせ、お互いの気持ちを伝え合い、問題を解決させた事も数多くありました。しかし、子どもたちを取り巻く、LINE や Twitter、TikTok 等の SNS の世界では、第3者が関係していることも多くあり、鎮火したはずの火(トラブル)も、翌日には再燃していくことが日常茶飯事です。指導に困難を極めています。

また、スマホに関しては、保護者に内緒で学校に持ち込み、教師の目を盗み、授業中に写真を撮って、ストーリー(インターネット上)にアップロードするといった、許し難い生徒指導も起きています。

以前も学年通信を通してご連絡いたしましたし、4月の入学式でもお伝えしましたが、**学校としては、スマートフォンの学校への持ち込みを禁止しています。学業には不必要であるからです。**

「学校には持って行かない」という当たり前のルールは、ご自宅での約束の1つとなっていると思いますが、実際に、ケータイがリビングや決められた場所にあるかどうかを、今一度ご確認いただくことを、本書面をもって、強くお願いします。私たちが現在の教育で人権を無視して荷物のチェックはできません。これは、保護者の皆様への切なる願いです。どうか、ご協力よろしく申し上げます。



## 非常ベルは命のベルです。

1ヶ月前、南中学校の非常ベルがなりました。緊急事態です。避難をしなければなりません。

校舎内全域にベルが響き渡りましたが、「火事ではない。」という適切な情報収集からなる判断により、避難することはありませんでした。ですが、ベルは誤作動ではなく、悪戯に押されたものでした。

とても、残念なできごとでした。全校集会、その後、学年集会を行いました。

私は、学年主任として、事件について子どもたちに次の話をしました。保護者の皆様方には記憶に残っていることと思います。

その事件とは、平成13年6月8日に遡ります。大阪教育大学教育学部附属池田小学校に出刃包丁を持った男1名が、2時間目の授業が終わりに近づいた午前10時過ぎころ、自動車専用門から校内に侵入し、校舎1階にある第2学年と第1学年の教室等において、児童や教員23名を殺傷した事件です。通称、大阪池田小児童殺傷事件についてです。

